

年の瀬も迫り、慌ただしい季節ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか？
今年の流行語年間大賞に“リアル二刀流”が選ばれました。皆さんの二刀流は何ですか？勉強&スポーツ、仕事&家庭・・・？全世界の共通課題は、
感染抑止&経済復興でしょう。新型コロナウイルスの弱毒化を祈るばかりです。



白衣着衣式 12月17日(金)

臨床実習1(ポリクリ)が始まる医学科4年生(115名)に白衣を贈る白衣着衣式が開催されました。白衣着衣式は、これまで講義と実習で学んできた学生が臨床実習に入る前に行う節目の儀式です。学生らはStudent Doctorの認定証と白衣を渡され、式に臨みました。昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症予防のため、保護者の列席はなく、ライブ映像の配信を行いました。本年度も白衣は霜仁会から寄贈されたもので、山口大学のロゴがプリントされています。篠田医学部長、杉野病院長、福本霜仁会会長より激励のお言葉を賜り、代表の学生には白衣が着せられました。真新しい白衣に袖を通した学生らは、「医師としての責任を自覚し、謙虚な姿勢と向上心を以て、生涯を人道のために捧げます」と誓いを立て、これから始まる臨床実習に向けて決意を新たにしました。

フレッシュな白衣姿が、これからすっかり馴染んでいっても、この日の志を忘れることなく、立派な医師として羽ばたいて欲しいと願っています。



山口大学医学部医学科白衣着衣式



自己開発コース報告会 12月15日(水)・16日(木)

今年6月より始まった自己開発コースが終了し、報告会を実施しました。半年間に及ぶ研究や社会活動の集大成です。各講座の先生方のご指導の下、先進的かつ創造性あふれる研究に携わせてもらった3年生たちが堂々と発表する姿は、大変頼もしいものでした。昨年同様、新型コロナウイルス感染防止のため、2年生は別講義室から遠隔で参加しました。研究は何度も失敗しながら真理を探し出すからRe-searchというのだと言われますが、学生たちもこの半年を通して、真理を導き出すことの難しさや喜びに触れることができたのではないかと思います。

これから学生たちは修学論文の作成に取り組みますが、苦勞して得た結果を形に残す充実感も味わって欲しいと思います。



医師国家試験を極める！！東京医大 三苦教授のご講演（FD研修会）

12月7日(火)に医学科教員FD研修会をWeb形式で開催しました。今回は、東京医科大学医学教育分野の教授で、元カリスマ予備校講師としてもご高名な三苦博先生に、「国家試験を卒前教育に生かすには？」というテーマでご講演頂きました。国家試験に関心の高い医学科学生からも多くの参加があり、深い知識や推論を要する問題や初見問題の増加で、国家試験は年々難しくなっているという現実を知ってもらう貴重な機会となりました。学生の考える力を伸ばす教育方法として病態生理を強調した、東京医大オリジナルの教材や、臨床推論重視の試験問題作成といった取り組みの紹介があり、教員にとっても実り多い研修会でした。

一方、国家試験の形式自体にも改革が及んでいます。現在、臨床実習前の4年生を対象に行われている共用試験CBTは、パソコンを通して送られるランダムに抽出された選択問題に対し、一問一答で進んでいく試験ですが、国家試験も今後このような形式となることが計画されています。これにより、画像問題を動画で出題できるようになる他、これまで問題文で述べられていた症候を動画から判断させるような問題も出題される可能性があります。まさに、目の前の患者さんを実際に診察し、検査、治療を考えるとといった実臨床のプロセスを机上試験で問われることとなります。

目まぐるしく変遷を遂げる国家試験ですが、卒前教育においては、臨床で使える本物の思考力を身につけられるよう、学生、教員とも奮励努力の精神で取り組む必要があります。



ご意見・ご要望等につきましては、医学教育センターへ
お願いします。 TEL: 0836-85-3747

E-mail: mec01@yamaguchi-u.ac.jp